

森林自己学習支援事業 人と木をつなぐプロジェクト

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻

目的

福島県産の間伐材等を活かした家具(スツール/サイドテーブル)や日用品の制作を通して、福島県の森林状況や県産材の利用促進について考え、建築技術者としての将来に活かす。また、建築端材を用いて環境に配慮したモノづくりを実践し、木の特性や木材加工技術、木材利用の可能性を学び、地域の方々へ木の魅力を伝えることで、人と木をつなぐ活動に繋げることを目的とする。

木造軸組み模型の制作



土台・柱・桁・火打ちなどを番付に基づいて組み立てる



「又ろ」に配される桁について、墨付け・刻みの実演



規矩術を用いた筋交いの加工見学および屋根垂木加工体験



筋交いと垂木(屋根)の施工



筋交いの接合部分について、指矩(さしがね)を使用する規矩術で角度を算定



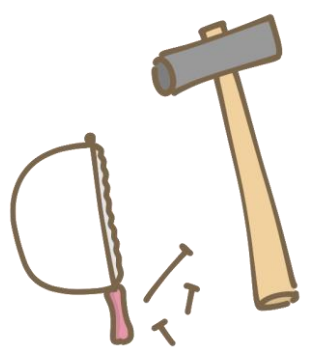
屋根の垂木について、鋸やノミを使用した加工体験



壁下地⇨断熱材施工⇨石膏ボード仕上げ、床根太組み⇨断熱材施工⇨床仕上げの施工体験



模型の解体・撤去。



スツール/サイドテーブル制作



制作したスツール/サイドテーブル

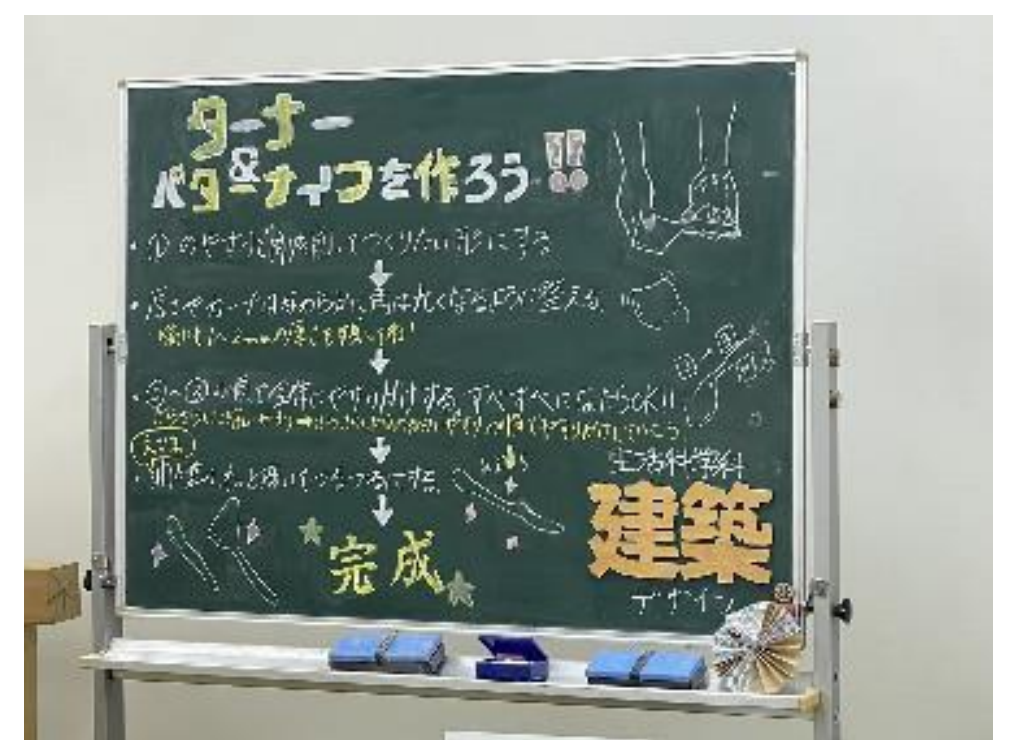
木工大工職人さんの指導を受けスツール制作に取り組み、木の特性や木材加工技術を学んだ。

ワークショップのための実践講座



去年の活動メンバーを中心に、ワークショップの準備として木材加工、ターナー・バターナイフ制作、ワークショップの進め方やポイントなどのレクチャーを行った。

木工体験ワークショップ



地域の方々を対象に木工体験ワークショップを開催し、ターナー・バターナイフの制作を通して木材加工の楽しさや木の魅力を地域の方々へ伝えた。

活動を通して

福島県産の間伐材等を活かした家具(スツール/サイドテーブル)や日用品の制作を通して、福島県の森林状況や県産材の利用促進について考える契機となった。また建築を学ぶ学生として、森林を再生する建築や昨今の建築分野における課題解決に向けた取り組みについても学ぶことができた。また、環境に配慮したモノづくりの実践では建築端材を活用したワークショップを実施することで、地域の方々へ木の魅力やモノづくりの楽しさを伝えることができ、人と木をつなぐ有意義な活動を実践することができた。